

# DXの推進

近年目覚ましい進歩を遂げているデジタル技術とデータを活用したDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進しています。2023年1月に、代表取締役社長をリーダーとするDX推進プロジェクトチームを発足しました。当社グループが加速する社会や市場の変化に対応して今後も高い競争力を維持するために、アナログな人海戦術に頼る意識・慣習やKKD(経験・勘・度胸)から脱却し、根拠(データ)に基づいた施策を実行できるデジタル企業への変革を目指します。

## DX推進プロジェクトの目的

- 業務・操業の棚卸およびDXによる課題解決を推進する。
- 統合データベースを構築し、業務システム間で必要なデータの共有化を図る。
- 最新のデジタル技術を活用し、情報の見える化・リアルタイム化、業務の自動化、省力等を図る。
- DXの取り組みを通じた業務変革で事業構造を高度化し、企業価値を向上させていく。

## データ活用基盤の構築と人材育成

DX推進プロジェクトでは、デジタルデータを活用した業務プロセス改革を図るため、業務間で必要なデータを共有化できる統合情報基盤(統合データベース)の構築を進めています。

この基盤は、業務に必要なデータを共有するためのもので、クラウド環境に構築されています。既存の業務データの収集・蓄積に加え、新たに設備のセンサーデータや稼働・操業に関するデータも重要な設備から順次収集しています。これにより、全社で活用できるデータ基盤の整備を進めています。

構築されたデータ活用基盤を使用して、BIツール等を用いたデータ分析や可視化からの得られる気付きをもとに、経験や勘に頼る判断からデータに基づく迅速なアクション・意思決定へと変革を図ります。これらの実行に欠かせない人材育成も進めており、組織のデータ活用のリーダーとして、収集したデータを用いた分析や課題解決ができる人材を座学やOJTを通じて育成しています。

## デジタル技術を活用した業務プロセス改革

各ワーキンググループは、それぞれの部署を主導して構築されたデータ活用基盤の活用方法やデジタル技術の導入を検討し、業務プロセスやビジネスモデルの変革に取り組んでいます。具体的な業務プロセス改革として、各業務に適したデジタルツールの導入や、Webを活用した顧客からの受注情報取得のシステム化を進めています。

これによって業務の自動化や省力化を実現し、業務の効率化を図っています。この取り組みは、高付加価値業務へのシフトを促進し、全体的な業務の効率化を目指すものであり、持続的な成長を支える重要な要素となります。今後もさまざまな角度から業務改革を進め、各部門の業務プロセスを革新しつつ、部署間の連携を強化し、組織全体の変革を推進していきます。

# 持続可能な調達の実現

山陽特殊製鋼グループは、法令や社会規範を確実に順守し、国内外を問わず幅広く門戸を開放した公平かつ公正な取引を行い、環境に配慮した調達活動を取引先の皆様と進めています。調達する原材料やサービスについて、アカウントビリティ(説明責任)、透明性、人権尊重および倫理行動といった「持続可能な調達」の原則を確認し、調達の意思決定に反映させています。また、取引先の皆様との相互理解と信頼関係の維持向上に努め、ビジネスパートナーとして相互の発展を目指しており、パートナーシップの強化を通じ、取引先の皆様の事業の持続可能性へ貢献する「持続可能な調達」の実現を図っています。

## 調達方針

当社は、調達活動において、法令を順守し、国内外を問わず幅広く門戸を開放し、公平かつ公正な取引を行い、お取引様とのパートナーシップの構築に努めます。また、環境に配慮した調達活動を推進します。

### 1. 法令・社会規範の順守

当社は、関連する法令、社会模範を順守し、誠実に行動するとともに、取引を通じて得た情報の管理を徹底します。また、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力とは一切の関係を遮断します。

### 2. 公平・公正な取引

当社は国内外を問わず、幅広く門戸を開放し、すべてのお取引様に参入の機会を提供し、経済合理性に基づいて取引を行います。

### 3. パートナーシップの構築

当社は、すべてのお取引様と対等かつ公平な立場で取引を行い、相互理解と信頼関係の維持向上に努め、ビジネスパートナーとして相互の発展を目指します。

### 4. 環境に配慮した調達活動の推進

当社は、お取引様の協力を得ながら有害化学物質を含んだ原材料・諸資材・機材を購入しない仕組みを構築します。

## 安定調達構造の構築に向けた取り組み

山陽特殊製鋼は通常24時間体制で生産を行っています。そのため、取引先の皆様のご協力の下、主原料である鉄スクラップは24時間体制で荷受けを行っています。また、合金鉄および副資材等は、必要量をタイムリーに調達しています。

また、災害などによる供給途絶などのリスクを想定し、主要な調達品目においては、取引先の工場を訪問することや、当社構内で適切な在庫を保有することで、非常の際にも生産活動を持続可能とする体制を構築しています。

## サプライヤー表彰制度

当社は、取引先の皆様とのパートナーシップを大切にしています。その一環として、サプライヤー表彰制度を設けています。サプライヤー表彰制度は、原材料・諸資材・保全・外注の各部門について、当社との一定期間の取引における品質・コスト競争力・納期管理・取引先の経営状況・環境対応・サービスなどの要素を総合的に評価し、優れた功績をあげられた取引先の皆様を選考して表彰するものです。2023年度も優れた功績をあげられた5社を表彰しました。

## パートナーシップ構築宣言

当社は、サプライチェーンにおける取引先の皆様との連携・共存共栄を進めることで、サプライチェーン全体での付加価値向上を目指す「パートナーシップ構築宣言」を公表しています。中小企業・小規模事業者への取引条件のしわ寄せを防止するとともに、引き続き下請取引の適正化を進めること、サプライチェーン全体での付加価値向上や、規模・系列等を越えたオープンイノベーションなどの新たな連携を促進することに取り組んでまいります。

2023年度は、お取引先向け「サイバーセキュリティに関する説明会」を開催し、サプライチェーン全体としてのセキュリティレベルアップに取り組みました。

